

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質						2.9		
Q1 室内環境			0.40			2.9		
1 音環境		2.6	0.15	3.0	1.00	2.7		
1.1 騒音		3.0	0.40	4.0	0.40			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	4.0	1.00			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		2.6	0.35	2.6	1.00		2.6	
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室温設定		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25	3.3	1.00		3.1	
3.1 屋光利用		4.2	0.30	4.2	0.30			
1 屋光率		建物全体・共有 U=5.229 住居・宿泊 U=2.145	5.0	0.60	5.0			0.60
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.30			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 屋光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 照度均斉度		-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.6	0.25	3.3	1.00	3.5		
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質		建物基準法規制対象外となる建築材料をほぼ全面的に使用。	4.0	1.00	4.0		1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.0	0.30	2.3	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		館内喫煙禁止	5.0	1.00	-		-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		3.1	
1 機能性		3.0	0.40	3.2	1.00		3.0	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60	3.0	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	3.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40	3.5	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		-	-	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-			
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-	3.1		
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管:HIVP、給湯管:ポリブデン管、排水管:VPを採用。	5.0	0.15	-		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

	2.3 適切な更新			-	-	-	-
	2.4 信頼性		3.4	0.19	-	-	
	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	4.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性	5	通信・情報設備	4.0	0.20	-	-	
	非常用発電機を設置している。						
	携帯電話網、PHS網を設置している。						
			2.8	0.29	3.9	1.00	3.1
	3.1 空間のゆとり		2.4	0.31	2.8	0.50	
	1	階高のゆとり	2.0	0.60	2.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり	2	空間の形状・自由さ	3.0	0.40	4.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.31	5.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.38	-	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
3.4 設備機器の更新性	4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			高効率の機器を採用。 ERR=0	3.8	0.30	-	3.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.63	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.21	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			内装一部にリサイクル商品を使用	4.0	0.21	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			可動間仕切り等を使用	5.0	0.25	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1 消火剤			3.0	0.33	-	-	
2 断熱材			3.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			2.1	0.33	-	-	2.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制			適切な量の駐輪・駐車スペースを確保。	5.0	0.33	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			屋外照明の扱いに対して配慮する。	4.0	0.70	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	